


本蓮寺三重塔



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	ほんれんじさんじゅうのとう
所在地	瀬戸内市牛窓町牛窓
指定年月日	昭和55年4月8日
解説	棟札写から、江戸時代中期の元禄3年(1690)に建立されたことが判明している。方三間(2.4m)、本瓦葺、総高18.1mの三重塔である。軒は二軒繁垂木で、軒支輪で支えている。基礎は外柱が花崗岩の連続基礎、内柱が独立基礎となっている。柱は粽[ちまき]にした檜の円柱で、各重とも腰に高欄付縁をめぐらしている。組物は和様で初重は二手先、二重・三重は三手先として尾垂木を出している。各重の四面には、花頭窓が取り付いており、唐様の影響が認められる。内部には来迎壁を設けて須弥壇を置いている。
アクセス方法	JR邑久駅から車で約15分、東備バス「本蓮寺下」バス停から徒歩1分
公開状況	外観のみ
設備	駐車場 
備考	